

子どものための教育・保育等給付認定申請書（兼現況届）（兼保育所等利用申込書）

申請について：新規・転園・継続・変更（1号→2号） 申請書提出日：令和 年 月 日



保 護 者	住所	館山市		
	氏名			
	電話番号	父携帯・自宅・他		
		母携帯・自宅・他		

館山市長 あて

↑連絡のつきやすい順に番号をふってください。

子ども・子育て支援法に基づき認定並びに保育所等における保育の利用について、次のとおり申請（現況を届出）します。

申請に係る 小学校就学前 子ども	ふりがな氏名	生年月日	年齢	性別	障害等の有無
				男	有 ・ 無
		年 月 日	歳	女	
給付認定証番号	※既に給付認定を受けている場合にご記入ください。				
第2号（満3歳以上）	申請子どもは、認定希望日時時点で満3歳に達する日以降の最初の3月31日を経過している《新2号》				
第3号（満3歳未満）	満3歳に達する日以降の最初の3月31日まで（0～2歳児非課税世帯に該当）《新3号》				

① 利用を希望する期間、希望する施設（事業者）名

利用を希望する期間		年 月 日から □就学前まで □その他（ 年 月 日）まで	
利用希望施設 （事業者）名	第1希望		希望理由
	第2希望		希望理由
	第3希望		希望理由
	第4希望以下		

② 世帯の状況（認定を受けようとする子どもは除き、世帯分離を含む同居者すべてをご記入ください。）

	ふりがな氏名	子どもとの続柄	生年月日	年齢	勤務先名 または学校名	備考 障害手帳の有る場合記入
子どもの世帯員			昭和 平成 令和			
			昭和 平成 令和			
			昭和 平成 令和			
			昭和 平成 令和			
			昭和 平成 令和			
			昭和 平成 令和			
			昭和 平成 令和			
			昭和 平成 令和			

提出確認（受付者記入）	同	家・健	証明	転	
-------------	---	-----	----	---	--

裏面に続きます。

世帯の状況	ひとり親世帯	☐ 離婚 ☐ 死別 ☐ 未婚 (年 月事由発生) ・児童扶養手当受給 (有 ・ 申請中 ・ 無) ※ひとり親世帯の場合には、戸籍の全部事項証明書を添付してください。提出がない場合は要保護世帯の認定を行いません。(児童扶養手当受給の場合は提出を省略可)	
	単身赴任	単身赴任をしている世帯員 ☐ 父 ☐ 母 ☐ 他 ()	
		単身赴任先の住所	
	の有無 生活保護	☐ 適用無 ☐ 適用有 (年 月 日 開始 ・ 開始予定)	

③ 保育の利用を必要とする理由 ※保育所等において保育の利用を希望する場合のみ下記を記入してください。

保育の利用を必要とする理由	続柄	必要とする理由 ※下記を証明する書類を添付してください。		備考
		区分	必要な添付書類等	
	父	☐ 就労	・就労証明書 <育休復帰の場合記入> 復帰日 年 月 日 育休延長 可 ・ 不可	
		☐ 疾病・障害	・申立書（病気療養・介護・看護用）	
		☐ 介護等	・診断書（症状・保育できない期間の記載があること） ／障害者・療育手帳（写）／介護保険証（写）のいずれか	
		☐ 災害復旧	・罹災証明書	
		☐ 求職活動	・求職活動申立書	
		☐ 就学	・入学許可書／在学証明書 ・時間割表	
		☐ その他		
		母	☐ 就労	
	☐ 産前・産後		・母子手帳	
	☐ 疾病・障害		・申立書（病気療養・介護・看護用）	
	☐ 介護等		・診断書（症状・保育できない期間の記載があること） ／障害者・療育手帳（写）／介護保険証（写）のいずれか	
	☐ 災害復旧		・罹災証明書	
	☐ 求職活動		・求職活動申立書	
	☐ 就学		・入学許可書／在学証明書 ・時間割表	
	☐ その他			

④ 希望する利用区分等

希望する利用時間	利 用 曜 日 (○を付けてください)		利 用 時 間	
	月 火 水 木 金 土		時 分 ～ 時 分	
利用区分の希望	☐ 保育標準時間利用 (1日最大11時間までの利用) ※原則父母ともに月120時間以上就労等している場合のみ可 (利用可能時間は施設によって異なります。) ☐ 保育短時間利用 (1日最大8時間までの利用) ※保育を必要とする理由が求職活動の場合は必ず短時間利用			
※右記は、継続入所の人のみ記入	令和6年度と上記利用区分(時間)で変更の有無 あ り ・ な し			

○ 字は楷書ではっきりと記入してください。

子どものための教育・保育等給付認定申請書（兼現況届）（兼保育所等利用申込書）

申請について：新規・転園・継続・変更（1号→2号） 申請書提出日：令和 6年 11月 21日

記入例

新規・転園・継続・変更 いずれかに○をしてください。
 新規：申込時に保育園等利用していない
 転園：現在利用している園と異なる園
 継続：令和6年度に入園している園を継続して利用を希望する

住所	館山市北条1145-1
氏名	館山 太郎
2	父携帯・自宅・他 0▲0-0000-□■□■
1	母携帯・自宅・他 0●0-△×△×-●○●○

利用について、次のとおり申請（現況を届出）します。

小学校就学前 子ども	たてやま いちろう 館山 一郎	生 年 月 日 〇〇年〇〇月〇〇日	年齢 歳	性別 男 女	障害等の有無 有 ・ 無
給付認定証番号	※既に給付認定されている場合にご記入ください。				
第2号（満3歳以上）	申請子どもは、認定希望日時時点で満3歳に達する日以降の最初の3月31日まで（0～2歳児非課税）				
第3号（満3歳未満）	申請子どもは、認定希望日時時点で満3歳に達する日以降の最初の3月31日まで（0～2歳児非課税）				

利用開始日時時点の満年齢に○。

令和7年4月1日現在の年齢を記入してください。

① 利用を希望する期間、希望する施設（事業者）名

利用を希望する期間	令和 7年 4月 1日から ☒ 就学前まで ☐		
利用希望施設 （事業者）名	第1希望	〇〇保育園	希望理由 自宅から近いため
	第2希望	■□こども園	希望理由 職場から近いため
	第3希望	○●保育園	希望理由 祖父母宅から近いため
	第4希望以下	第4：□○保育園 第5：●□こども園	

希望に記入されている園のみで入所審査を行います。

入所希望月時点の予定で記入してください。

② 世帯の状況（認定を受けようとする子どもは除き、世帯分離を含む同居者すべてを記入ください。）

ふりがな氏名	子どもとの続柄	生年月日	年齢	勤務先名または学校名	備考 障害手帳の有る場合記入
たてやま たろう 館山 太郎	父	昭和 平成 令和 4・5・25	32	株式会社〇×〇	障害者手帳あり
たてやま はなこ 館山 花子	母	昭和 平成 令和 7・10・10	29	□△社	
たてやま はなみ 館山 花実	姉	昭和 平成 令和 25・1・21	11	△△小6年生	
たてやま じろう 館山 次郎	弟	昭和 平成 令和 5・6・7	1	〇〇保育園申込み	
		昭和 平成 令和			
		昭和 平成 令和			
		昭和 平成 令和			
		昭和 平成 令和			

保育料が軽減になる場合があるため、障害のある世帯員の方は備考欄にご記入下さい。（同意書の項目を参照）

世帯の状況	ひとり親世帯	☒ 離婚 ☐ 死別 ☐ 未婚 (令和6年11月事由発生) ・児童扶養手当受給 (☒ 有 ・ 申請中 ・ 無) ※ひとり親世帯の場合には、戸籍の全部事項証明書を添付してください。提出がない場合は要保護世帯の認定を行いません。(児童扶養手当受給の場合は提出を省略可)		該当の場合 記入してください。
	単身赴任	単身赴任をしている世帯員 ☒ 父 ☐ 母 ☐ 他 (		
	単身赴任先の住所	単身赴任先の住所	東京都江戸川区	
の有無	☒ 適用無 ☐ 適用有 (令和 年 月 日 開始 ・ 開始予定)			

③ 保育の利用を必要とする理由 ※保育所等において保育の利用を希望する場合のみ下記を記入してください。

続柄	必要とする理由 ※下記を証明する書類を添付してください。		備考
	区分	必要な添付書類等	
父	☒ 就労	・就労証明書 <育休復帰の場合記入> 復帰日 令和 年 月 日 育休延長 可 ・ 不可	ここで選んだ事項について証明できる書類 (必要な添付書類等に書かれている書類)を 必ず添付してください。 また、育休復帰の場合は復帰日、 延長の可・不可について記入して下さい。 ※就労証明書にも復職年月日の記載が 必要です。
	☐ 疾病・障害	・申立書(病気療養・介護・看護)	
	☐ 介護等	・診断書(症状・保育できない期間の記載があること) ／障害者・療育手帳(写)／	
	☐ 災害復旧	・罹災証明書	
	☐ 求職活動	・求職活動申立書	
	☐ 就学	・入学許可書／在学証明書	
	☐ その他		
母	☒ 就労	・就労証明書 <育休復帰の場合記入> 復帰日 令和 7 年 4 月 15 日 育休延長 ☒ 可 ・ 不可	こちらの説明は、ご案内の1ページ と2ページをご覧ください。 令和6年度から保育園等を 継続して利用している人は 利用時間等の変更について 「あり・なし」どちらかに○を してください。
	☐ 産前・産後	・母子手帳	
	☐ 疾病・障害	・申立書(病気療養・介護・看護用)	
	☐ 介護等	・診断書(症状・保育できない期間の記載があること) ／障害者・療育手帳(写)／	
	☐ 災害復旧	・罹災証明書	
	☐ 求職活動	・求職活動申立書	
	☐ 就学	・入学許可書／在学証明書	
☐ その他			

④ 希望する利用区分等

希望する 利用時間	利 用 曜 日 (○を付けてください)	利 用 時 間
	☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☐ 土	8 時 00 分 ~ 16 時
利用区分 の希望	☐ 保育標準時間利用 (1日最大11時間までの利用) ※原則父母ともに月120時間以上就労等している場合のみ可 ☒ 保育短時間利用 (1日最大8時間までの利用) ※保育を必要とする理由が求職活動の場合は必ず短時間利用	
※右記は、継続入所の人のみ記入	令和6年度と上記利用区分(時間)で変更の有無 あ り ・ ☒ な し	

○ 字は楷書ではっきりと記入してください。